

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「ひと休み」

【撮影】板橋裕毅さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は、今号2面をご覧ください。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



三井 浩さん・千賀子さん(向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながるすみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第4回目は、向島在住の三井 浩さん・千賀子さんご夫妻。区内のクリエイターが集う「すみだクリエイターズクラブ」の一員として、すみだをより面白く、より元気なまちにするために活動されています。

Q. 三井さんご夫妻は現在、すみだでどのような活動をされていますか？

浩さん 「すみだクリエイターズクラブ」(クリクラ)の一員として区内で様々なイベントを仕掛けたり、事業のPR等のお手伝いをしています。

クリクラでは毎年1回~2回、イベントを開催してきました。「ぼくらがすみだを好きな理由」「銭湯バカンスⅠ・Ⅱ」「拜啓、北斎先輩」など、まちを盛り上げるアイデアをメンバーで出し合って実現しています。今

年は6月に「Tシャツ展」を開催して大盛況でした。

千賀子さん クリクラはデザイナー、映像作家、建築家など様々なクリエイターが所属して自主企画をしたりお仕事を受けていたりしています。それぞれがやりたいことをしながら、ゆるくつながっている感じです。活動を通して、墨田区を素敵に見せることができたらいいなと思い、取り組んでいます。



26年から毎年実施しているクリクライベントのチラシ

Q. すみだで現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

浩さん 平成22年に墨田区の事業に携わったのがきっかけです。前から区内に事務所を構えていたんですが、地域の仕事をしたのは初めてでした。

千賀子さん その事業で地域の方に話を伺っているうちに、すごく可能性のある面白いまちだなと感じて、地域の様々な事業や企画に関わりたと思うようになりました。

地域に目を向けてみると、区内で同じような仕

事をしている人が結構いることに気付いたんです。それで、区内のクリエイターが集まればまちが活性化するような発想が浮かぶし、実現もできるかなと思い、25年に友人たちとクリクラを発足しました。

浩さん 当時、すみだにクリエイターがこんなにいるなんて思ってもみなかったので、発足時に30人以上集まったときは驚きました。

Q. 三井さんご夫妻は、すみだのどんなところが好きですか？

浩さん このまちの人の空気感ですかね。損得勘定だけで動くことはないですし、みんなすごく穏やかです。クリクラのことを知り合いから聞いた方が相談をしてくれることもあり、そういう人と人がいろいろな場面でつながっているところもすみだの良さですね。

千賀子さん 楽しみながら仕事や活動をしている人が多いですね。クリクラのメンバーは、このまちの人のそういう空気感がすごく好きなんです。だから、今まで培ってきた経験でまちをより良くしていけるよう、メンバー全員で取り組んでいきたいと思っています。

次回登場してくださるのは・・・

浩さんとは学生時代からの友人で、総合型地域スポーツクラブ・スポーツドアあずまの副理事長を務めている宮澤賢治さんです。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223

夢

すみだで元気に すみだを元気に

墨田区長

山本 亨

今月17日は敬老の日。ことわざ「年寄り家の宝」「亀の甲より年の功」などあるように、豊富な経験や知恵を持つ高齢者の皆さんは地域にとっても大切な存在です。現在、本区には65歳以上の方が6万人以上います。こうした人生の先輩方と積極的に交流し、その経験や知恵に学ぶことは、青少年など若い人々の成長はもとより、すみだに伝わる伝統や文化の継承、さらには地域力の向上へとつながります。

区では、高齢者の皆さんに、慣れ親しんだこのすみだで、いつまでも元気に暮らしていただきたいとの思いから、様々な支援事業を行っています。適度な運動や栄養バランスの取れた食事に関する教室・講演会、お口のケ

ア等に関する取組をはじめとする、生活機能の維持向上をめざす介護予防事業、自身の健康状態をチェックするための高齢者を対象とした健康診査やがん検診などです。健康で充実した生活が送れるよう、これらの事業を積極的に活用していただければと思います。

ところで、去る7月27日に、区立本所中学校の皆さんから、平成30年7月豪雨災害への義援金を受け取りました。同校の3年生が7月上旬に京都へ修学旅行に行った際、この豪雨に遭遇し、濁流と化した川を目の当たりにするなど、被害の深刻さを体感したことをきっかけに、自分たちにできることはないかを考え、生徒会が全校生徒に義援金への協力を呼び掛けたそうです。皆さんの思いが詰まったこの

大切な義援金は、日本赤十字社を通して被災地へお届けします。



本所中学校の皆さんが、平成30年7月豪雨災害への義援金を届けてくれました。